

平成 21 年度「食と農林水産業の地域ブランド協議会」 シンポジウム開催要領

～売れて、儲けて、喜ばれる地域ブランドをめざして～

1 趣旨

現在、各地域において、地域の農林水産業、食品産業の競争力強化や地域活性化につなげていこうとの観点から、地域ブランド化の取組が進められています。

このような農林水産物・地域食品の地域ブランド化の取組主体や地域ブランド化の支援者、加工・流通の関係者等が幅広く参集し、相互に情報の交換や提供、交流等を実施するため、平成 19 年 11 月に「食と農林水産業の地域ブランド協議会」が設立されました。また、農林水産省では平成 20 年度から「農林水産物・食品地域ブランド化支援事業」を実施し、地域の取組主体が外部からプロデューサーを招聘して進める地域ブランド化の取組を支援しています。

このたび、当協議会の平成 21 年度総会に併せてシンポジウムを開催し、地域ブランド化に向けた実践的な取組や課題解決の方策について話し合います。今年度は、販売促進に向けて消費者に喜ばれる地域ブランドの構築や効果的な情報発信等について検討します。

2 主催

食と農林水産業の地域ブランド協議会

3 日時

平成 21 年 11 月 27 日(金) 13:30 ~ 17:00

4 場所

都市センターホテル 3階コスモスホール (東京都千代田区平河町 2 - 4 - 1)
(案内図は参加申込書の下に記載。)

5 参加費

無料

6 定員

250名 (定員に達し次第、受付を締め切ります。)

7 対象

- 食と農林水産業の地域ブランド協議会会員
- 一般 (会員以外も参加可能です。また、協議会への入会も受け付けております。(会費無料))
- ・農林水産物・地域食品の生産者
- ・農林水産物・地域食品の生産者団体(ＪＡ、森林組合、漁協、事業協同組合、協議会等)
- ・地域ブランド化支援者(シンクタンク、コンサルタント、プロデューサー等)
- ・農林水産・食品産業関係者(生産、加工、流通、販売、外食等関係者)
- ・地方自治体(都道府県、市町村)
- ・消費者その他

8 内容

13:30～13:50 総会

会長あいさつ、農林水産省あいさつ、協議会の取組状況報告、行政からの情報提供等

14:00～17:00 シンポジウム

基調講演「地域ならではのブランドづくりで日本を元気にする！」

講師：三宅 曜子 マーケティングコンサルタント、ライフコーディネーター
(株)クリエイティブ・ワイズ、(株)マーケティング・ナビ 代表取締役社長

事例報告

「宿儺(すくな)かぼちゃ」

報告者：若林定夫 宿儺かぼちゃ研究会会長(岐阜県高山市)

「魚津寒八ギ如月王」

報告者：浜住博之 魚津漁業協同組合参事(富山県魚津市)

パネルディスカッション

テーマ「売れて、儲けて、喜ばれる地域ブランドをめざして」

コーディネーター：

金子 和夫 (株)日本総合研究所 上席主任研究員・食と農林水産業の地域ブランド協議会幹事

パネリスト(登壇順)：

三宅 曜子 前出

金丸 弘美 食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー

澤崎 聡 澤崎聡事務所代表 プロデューサー

食品流通関係者(調整中)

総会・パネルディスカッション終了後、地域ブランド化に取り組んでいる食品の試食会を兼ねて会費制の交流会を開催します。百貨店、スーパー、食品メーカー、中食・外食等のバイヤーの皆様のご参加を歓迎します。定員(200名)に達し次第、受け付けを終了します。時間17:45～19:30、場所は日比谷シャンテ地下2階「柿安三尺三寸箸」、会費3,000円。

9 申込方法

「参加申込書」に必要事項を記入し、次項の申込先へメールまたはファックスでお送りください。受付後に入場券をファックスでお送りします。入場券はシンポジウム当日、受付で係の者にお渡しください。

個人情報、当協議会の事務局である財団法人都市農山漁村交流活性化機構の個人情報取扱方針にもとづいて、当シンポジウム等の運営のみに使用いたします。

10 お問い合わせ先(お申し込み先)

「食と農林水産業の地域ブランド協議会」事務局

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-5-3 不二ビル 8階

財団法人都市農山漁村交流活性化機構(愛称:まちむら交流きこう) 内

電話: 03-3548-2726(原田)、03-3548-2716(佐藤) FAX:03-3276-6771

メールアドレス info@syoku-brand.com

以上

講師等のプロフィール（登壇順）

基調講演講師・パネリスト

三宅曜子 マーケティングコンサルタント、ライフコーディネーター



(株)クリエイティブ・ワイズ、(株)マーケティング・ナビ 代表取締役社長

マーケティングコンサルタントとして、中小企業支援及び指導、商業活性化事業、まちづくり事業等、顧客のニーズを的確に捉えた市場開発とアプローチ手法等、幅広い分野におけるマーケティング全般のアドバイスを全国各地で手がける。平成 19 年度、経済産業省中小企業地域資源活用事業プログラムの政策審議会委員、国会での中小企業法案(中小企業地域資源活用促進法案)審議の参考人を務めるなど、地資源活用事業促進のハンズオン支援を積極的に行う。

事例報告者

若林定夫 宿儺(すくな)かぼちゃ研究会会長

宿儺かぼちゃは岐阜県の旧丹生川村(現高山市)の数戸の家庭で自家消費用に栽培されていたヘチマ形のかぼちゃ。主な出荷先は中部地域や関西地域だが、東京を中心に良いものを高値で販売する戦略で新たな顧客を開拓し、全国に知られるブランド農産物を目指す。宿儺かぼちゃの長期出荷体制の確立、「ほっこり、甘い」という特性を活かした料理レシピの開発等に取り組む。



浜住博之 魚津漁業協同組合参事

富山県魚津市の魚津漁業協同組合は「魚津寒ハギ 如月王」のブランド化に取り組む。当地区のウマヅラハギは冬季の水揚げの50%を占め、冬季の家庭料理に欠かせない安価な食材として親しまれてきたが、皮を剥く面倒さ等のため、もっぱら加工向けとして扱われる時代が続いた。寒ハギを地域ブランドとするため、漁協、仲買い、行政、飲食店など、地域ぐるみで取組を始めている。

魚津寒ハギ
如月王



宿儺かぼちゃ研究会と魚津漁業協同組合は、平成 20 年度から農林水産省補助事業「農林水産物・食品地域ブランド化支援事業」の支援を受けて地域ブランドの取組を行っています。

パネルディスカッションコーディネーター

金子和夫 (株)日本総合研究所 上席主任研究員

76 年からファッションビジネスに従事し、88 年(株)日本総合研究所に入社。マーケティングの手法を活用して、まちづくり、地域ブランドのプロジェクト等に多数取り組む。農林水産省知的財産戦略本部 専門家会議委員、食と農林水産物の地域ブランド協議会幹事のほか、経済産業省地域中小企業サポーター、国土交通省地域振興アドバイザー、独立行政法人中小企業基盤整備機構地域資源活用アドバイザー等を務める。



パネリスト

金丸弘美

食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー



「食と農からの地域再生」、「地域のブランドデザイン」をテーマに全国 800 あまりの農山漁村を取材。地域活動や食育事業のコーディネートに携わり、宿儺かぼちゃのプロデューサーとしても活躍。著書に『創造的な食育ワークショップ』(岩波書店)、『田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』(NHK出版)など多数。総務省地域力創造アドバイザー等を務める。大妻女子大学家政学部、明治大学農学部非常勤講師。

澤崎 聡

澤崎聡事務所代表 プロデューサー



ナショナルブランドのバックヤードを担当しながら、山口きらら博 2001 キャラクタープロデュースより各地の地域おこしに関わり、地域の資源を見つめ新たな時代の活用・活性をめざす。「魚津寒ハギ如月王」をきっかけに名品づくりとともに未利用品をも視野に入れた新たな地域ブランドづくりを手がける。独立行政法人中小企業基盤整備機構地域ブランドアドバイザー等を務める。

宛先:食と農林水産業の地域ブランド協議会事務局(FAX03-3276-6771)

平成21年度「食と農林水産業の地域ブランド協議会」総会・パネルディスカッション等 参加申込書

お名前		
ご所属・職名		
ご連絡先	電話	
	F A X	
	メールアドレス	
参加区分	該当する項目に を記入してください。 協議会会員 ・ 一般(協議会の入会も受け付けています(会費無料))	
申込内容 参加を希望する項目の()内に を記入してください。	総会・シンポジウム(無料。13:30~17:00)	()
	交流会(会費3,000円。17:45~19:30)	()
ご質問	講師・パネリスト等へのご質問がありましたら、本欄に記載願います。当日の進行により、全てのご質問にお答えできない場合も考えられますが、予めご容赦願います。	

個人情報は、当協議会の事務局である財団法人都市農山漁村交流活性化機構の個人情報取扱方針にもとづいて、当総会・パネルディスカッション等の運営のみに使用いたします。

総会・シンポジウム会場

都市センターホテル

東京都千代田区平河町 2-4-1
TEL 03-3265-8211

地下鉄 有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」9b番出口から徒歩約3分
地下鉄 丸の内線・銀座線「赤坂見附駅」D出口から徒歩約8分
東京メトロ 有楽町線「麹町駅」1番出口から徒歩4分



交流会会場

柿安三尺三寸箸 Nouvelle 日比谷店

東京都千代田区有楽町 1-2-2
日比谷シャンテ B2F
TEL03-3539-1566

シンポジウム会場からの移動
「永田町駅」から地下鉄有楽町線に乗り、「有楽町駅」下車、D2出口から徒歩4分
地下鉄「日比谷駅」、JR「有楽町駅」から徒歩

